



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

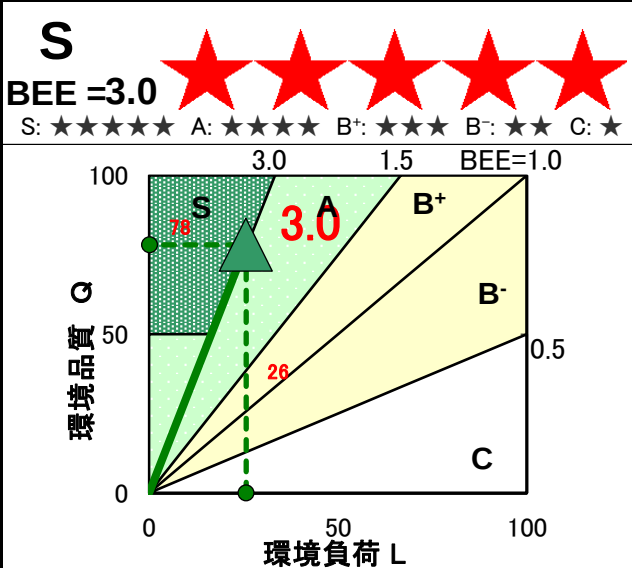
1-1 建物概要

建物名称	(仮称)うめきた2期地区開発事業新築工事のうち北街区賃貸棟工事		
建設地	北区大深町		
建築用途	事務所、ホテル、物販店舗、飲食店舗、自動車車庫		
建築主	三菱地所(株) 他7者		
設計者	うめきた2期区域設計監理業務共同企業体(株)日建設計、(株)竹中工務店		
敷地面積	8,402.88	m ²	
建築面積	5,014.84	m ²	
延床面積	64,196.28	m ²	
構造/階数	S造	/	地上26階、地下3階
完了年(予定)	2024年4月		

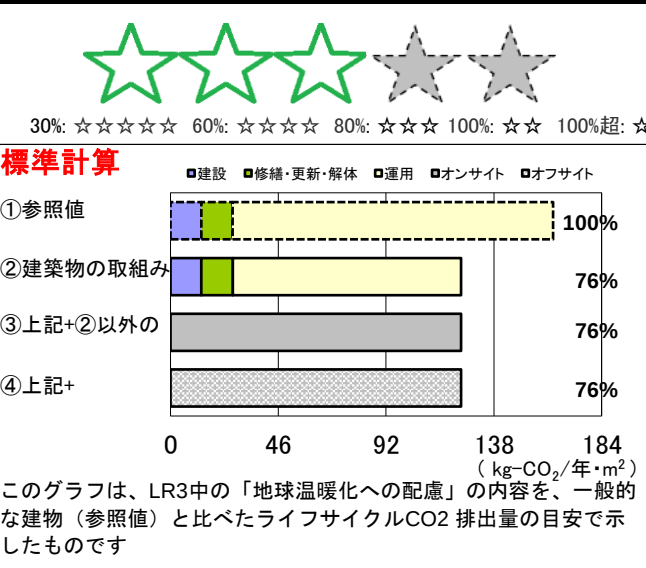
1-2 外観



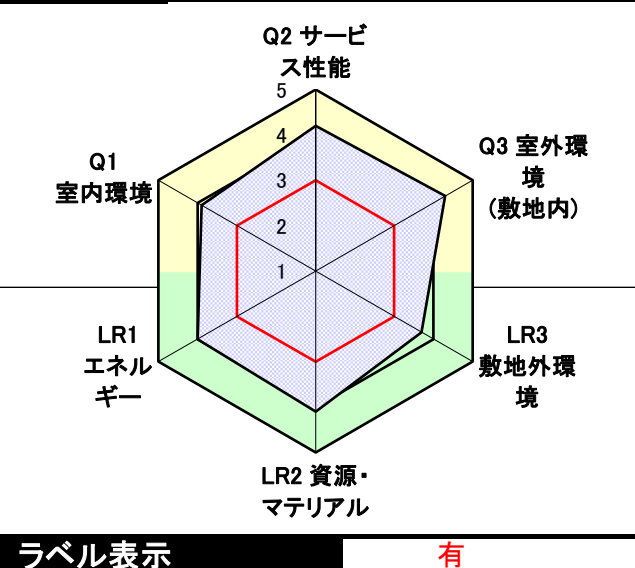
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



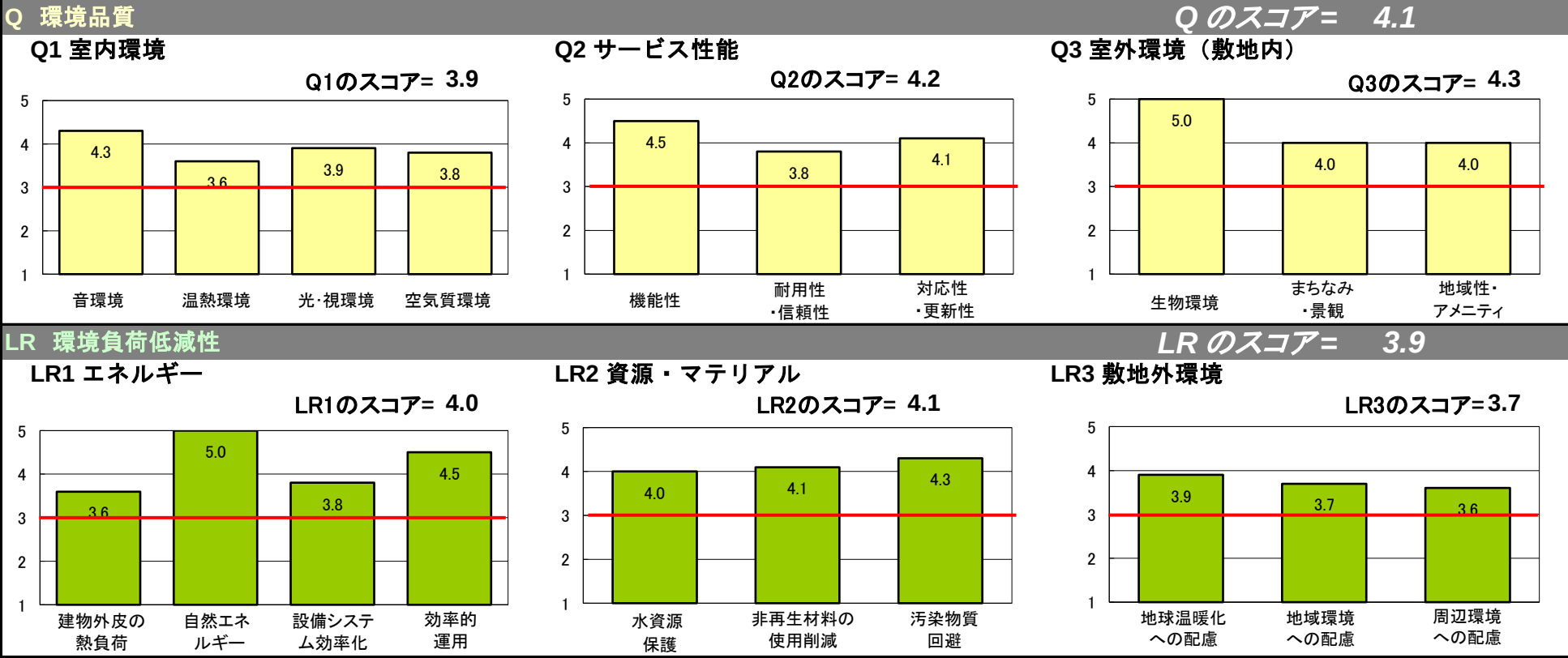
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合 ◎外装全体にLow-e複層ガラスを採用 ◎施設全体としてユニバーサルな計画としている ◎内部、外部に施設利用者が自由に利用できる共用部空間を計画		その他 特になし
Q1 室内環境 ◎窓面をフルハイトとすることで室内からの眺望と昼光利用の確保 ◎CO ₂ 監視制御と1.2倍の換気量により空気室環境の確保	Q2 サービス性能 ◎制振構造による建物の安全性確保 ◎非常用発電機・コ・ジェネレーションなどによる建物の信頼性確保	Q3 室外環境(敷地内) ◎公園側ピロティに共用外部空間を設け、賑わい創出を計画 ◎建物屋上各所に共用外部空間とともに緑化を実施
LR1 エネルギー ◎エネルギーの面的利用として地域冷暖房を採用 ◎日本初の大規模帯水層蓄熱を採用 ◎環境×防災を考慮してコ・ジェネレーションを採用 ◎BEMS導入による効率的なエネルギー利用を支援	LR2 資源・マテリアル ◎中水利用設備による雑用水利用 ◎建築材料としてリサイクル材を採用	LR3 敷地外環境 ◎雨水流出抑制、排水処理設備、中水利用設備による地域下水インフラへの配慮

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 3.0

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO2削減	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR3/ 三菱地所(株) 地球温暖化への配慮	3.9
配慮事項	ライフサイクルCO2排出率 = 76 %

環境性能		評価点	
(2)みどり・ヒートアイランド対策		5.0	
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能			概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	5.0	
Q3 / 3 /3. 2/	敷地内温熱環境の向上	4.0	
LR3/ 2 /2. 2/	温熱環境悪化の改善	4.0	
配慮事項	敷地内、屋上に積極的に緑化		

環境性能		評価点	
(3)建物の断熱性		4.0	
CO2削減に配慮した環境性能			概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	3.6	
配慮事項	Low-E複層ガラス		

環境性能		評価点	
(4)エネルギー削減		4.0	
CO2削減に配慮した環境性能			概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	3.8	
配慮事項	LED, コ・ジェネレーション, 帯水層蓄熱の採用		

省エネルギー基準計算結果

基準 適合状況	適合
------------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
(基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分 (品確法等級) - (相当)	非住宅部分[BEI][BEIm] 0.93
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEIm] 0.74	住宅部分[BEI] - 非住宅部分[BEI][BEIm] 0.74

再生可能エネルギー利用設備導入検討シート（太陽光発電設備用）

1 設備導入の検討																
① 周辺環境の把握																
② 日照条件の検討																
ア 検討対象とする場所	☒ 屋根部 地上高さ（ 123 ） m ☐ 地上部 （ ☐ 空地部分 ☐ その他 ） ☐ 壁面 ☐ その他 （ ）															
イ アの周囲における日射遮蔽物 三菱地所（株） 他7社	☒ なし ☐ あり <table border="1"> <tr> <td>方位（ ）</td> <td>高さ（約 ） m</td> <td>水平距離（約 ） m</td> </tr> <tr> <td>方位（ ）</td> <td>高さ（約 ） m</td> <td>水平距離（約 ） m</td> </tr> <tr> <td>方位（ ）</td> <td>高さ（約 ） m</td> <td>水平距離（約 ） m</td> </tr> <tr> <td>方位（ ）</td> <td>高さ（約 ） m</td> <td>水平距離（約 ） m</td> </tr> <tr> <td>方位（ ）</td> <td>高さ（約 ） m</td> <td>水平距離（約 ） m</td> </tr> </table>	方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m	方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m	方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m	方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m	方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m
方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m														
方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m														
方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m														
方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m														
方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m														
ウ 日照の確保（冬至）	☒ 十分 ☐ 不十分															
③ 日照条件に適合する場所の検討																
ア 設置可能面積等	（ 0.0 ） m ² 方位（ 南 ） 設置角度（ ） 度															
イ 設置可能太陽光パネル面積	（ 0.0 ） m ²															
ウ 設置可能容量	（ 0.0 ） kW															
エ 利用設備に対する荷重対策	☐ あり ☒ なし															
オ 設置に備えた対応	☒ なし ☐ あり （例：設備用基礎の設置） （ ）															
④ 導入判断																
検討結果 ☐ 導入する →具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入 ☒ 導入しない																
導入を見送る理由（複数選択可） ☐ 日照が確保できない ☐ 躯体が荷重に対応できていない ☒ 敷地内に設置する場所を確保できない ☐ 費用負担が大きい ☐ 本計画では見送るが、将来対応可能とする ☐ その他（ ）																
2 導入する設備の概要																
ア 太陽光パネル面積	（ 0.0 ） m ²															
イ 発電容量	（ 0.0 ） kW															
備考																
屋上には緊急離発着場及び設備機器（空調機・チラー・排気ファン・排煙ファン等）が配置され、太陽光発電設備を設置する場所を確保できないため。 また敷地内についても設置する場所を確保できないため。																
注 2ア 太陽光パネル面積が、1③イ 設置可能太陽光パネル面積と大きく異なる場合、備考欄にその理由を記入してください。																

再生可能エネルギー利用設備導入検討シート（太陽熱利用設備用）

1 設備導入の検討																
① 周辺環境の把握																
② 日照条件の検討																
ア 検討対象とする場所	☒ 屋根部 地上高さ (123) m ☐ 地上部 (☐ 空地部分 ☐ その他) ☐ 壁面 ☐ その他 ()															
イ アの周囲における日射遮蔽物 三菱地所(株) 他7社	☒ なし ☐ あり <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>方位 ()</td> <td>高さ(約) m</td> <td>水平距離(約) m</td> </tr> <tr> <td>方位 ()</td> <td>高さ(約) m</td> <td>水平距離(約) m</td> </tr> <tr> <td>方位 ()</td> <td>高さ(約) m</td> <td>水平距離(約) m</td> </tr> <tr> <td>方位 ()</td> <td>高さ(約) m</td> <td>水平距離(約) m</td> </tr> <tr> <td>方位 ()</td> <td>高さ(約) m</td> <td>水平距離(約) m</td> </tr> </table>	方位 ()	高さ(約) m	水平距離(約) m	方位 ()	高さ(約) m	水平距離(約) m	方位 ()	高さ(約) m	水平距離(約) m	方位 ()	高さ(約) m	水平距離(約) m	方位 ()	高さ(約) m	水平距離(約) m
方位 ()	高さ(約) m	水平距離(約) m														
方位 ()	高さ(約) m	水平距離(約) m														
方位 ()	高さ(約) m	水平距離(約) m														
方位 ()	高さ(約) m	水平距離(約) m														
方位 ()	高さ(約) m	水平距離(約) m														
ウ 日照の確保(冬至)	☒ 十分 ☐ 不十分															
③ 熱需要の条件等の検討																
ア 建築物の用途	事務所、ホテル、飲食															
イ 熱需要対象用途	☐ 冷房 ☐ 暖房 ☐ 給湯 ☐ その他 ()															
ウ 設置可能面積	(0.0) m ²															
エ 概算年間熱利用量	(0) MJ/年															
オ 利用設備に対する荷重対策	☐ あり ☒ なし															
カ 設置に備えた対応	☒ なし ☐ あり (例：設備用基礎の設置) ()															
④ 導入判断																
検討結果 ☐ 導入する →具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入 ☒ 導入しない																
導入を見送る理由（複数選択可） ☐ 日照が確保できない ☐ 年間を通じて安定した熱需要がない ☐ 躯体が荷重に対応できていない ☒ 敷地内に設置する場所を確保できない ☐ 費用負担が大きい ☐ 本計画では見送るが、将来対応可能とする ☐ その他 ()																
2 導入する設備の概要																
ア 集熱パネル面積	(0.0) m ²															
イ 概算年間熱利用量	(0) MJ/年															
ウ 熱需要対象用途	☐ 冷房 ☐ 暖房 ☐ 給湯 ☐ その他 ()															
備考																
屋上には緊急離発着場及び設備機器（空調機・チラー・排気ファン・排煙ファン等）が配置され、太陽集熱パネルを設置する場所を確保できないため。 また敷地内についても設置する場所を確保できないため。																